

徳島市耐震改修促進計画（素案）に対するパブリックコメント結果

意見募集期間 : 平成25年12月20日～平成26年1月20日

意見提出者数 : 5人

提出意見数 : 5件

提出いただいたご意見に対する市の考え方は、別紙のとおりです。

No.	意見の概要	市の考え方
1	南海トラフ巨大地震に備え耐震改修は重要であるが、平成32年度までに住宅の耐震化率95%とするのはハードルが高いと思う。目標達成に向け、我々市民が耐震改修を積極的に行えるよう、助成制度等のPRに努めて欲しい。	あらゆる機会を利用し、助成制度の普及・啓発に努めて参ります。
2	32ページの地震発生時に通行を確保すべき道路の沿道の建物棟数は全ての棟数を記載しているのではないかと。昭和56年以前の旧耐震のものに限定した方が分かりやすいと思う。	道路沿道の建物棟数から耐震化が必要な通行障害既存耐震不適格建築物の棟数に修正します。
3	31ページの沿道建物棟数、特定建築物の棟数には11号バイパス沿い(徳島町3丁目)で解体を行っているが、棟数に含まれているのか？	最新情報に更新します。
4	地震や津波の被害について危機感があります。一番怖いのは、津波の被害です。深夜でも逃げられる高い避難場所が欲しいです。自宅は、地震が来たときに逃げられる程度の工事はしました。行政には、地域全員が逃げられるように準備して欲しいです。	当該計画は、地震により建物が倒壊するのを防ぐための取り組みを定めたものです。ご意見につきましては、今後の防災計画の参考とさせていただきます。
5	市有施設の耐震化に力を入れてもらいたい。 特に避難所や昼間に市民が利用するような建物は、100%を目指してもらいたい。	当該計画において、地震発生時の避難、救護、応急対策活動拠点となる防災上重要な建築物及び高齢者・乳幼児等の災害時要援護者のための防災上重要な市有施設(優先度A)は、平成27年度末までに耐震化率100%を目指します。 また、不特定多数の者が使用し多くの被害が予測される建築物及びライフラインの応急対策活動拠点となる建築物(優先度B)についても平成32年度末までに耐震化率100%を目指します。